

令和5年度 事業計画

社会福祉法人 伯耆町社会福祉協議会

令和5年度 社会福祉法人伯耆町社会福祉協議会事業計画

<基本方針>

1 地域福祉関係

「住み慣れた地域で、支えあい安心して暮らせる福祉のまちづくり」の実現を掲げて、「我が事・丸ごと」の地域づくりの「我が事」に焦点を当て、支え合い・見守り体制づくりを地域の皆さんとともに進めていきます。

3年あまりにわたって私たちの社会に入りこんできた新型コロナウイルス感染症という災禍は、人の行動様式を大きく変えました。そのことは、私たちが目指す地域福祉を推進する活動そのものを変えたともいえます。見えないウイルスは、この間、変異を繰り返しながら、この社会に定着した感さえますが、私たちはいつまでもこのウイルスを恐れて行動を逡巡し、制限し続けるわけにはいきません。最近の日本社会の動向は、ウイルスを正しく理解して対策を講じながら、可能な限り以前のような生活を営もうという風にシフトしてきています。この方向は、地域福祉の推進を目的として活動している私たち社会福祉協議会職員、また地域住民にとっても、受け入れるべき方向であると考えています。

人は、家族や地域の中で互いに支え合いながら暮らしています。支え合いは、地域福祉推進活動の根本の精神です。今だコロナ感染症という災禍から完全に脱却できたとはいえない中にも支え合いの精神が揺るぐことのないように、私たち社協職員は、少子高齢化、小家族化などの地域課題に向きあって、冒頭に述べたまちづくりに貢献できるよう必要な活動を地道に進めていきたいと考えています。

2 介護サービス関係

- ① 利用者の立場に立ち、一人ひとりに求められるサービスは何かということを常に考えながら、質の高いサービスを提供していきます。
- ② 研修機会の確保など職員の資質の向上に努めます。
- ③ 関係法令、業務マニュアルの遵守、ヒヤリハットの共有と点検、関係機関等から適宜適切な情報収集を行いながら、安全で良質なサービス提供に努めます。
- ④ マンパワーの確保など厳しい現場環境の中にも、サービスの質を落とすことなく運営ができるように、常に業務方法の改善、効率化やコスト意識向上に取り組みます。また、介護報酬等が伸び悩む中で職員の意識改革を促し、新たなニーズの掘り起こしなど、収入の確保に積極的に取り組みます。
- ⑤ コロナウイルス感染症は、介護高齢者施設の経営にも大きな影響を及ぼしています。令和4年度には、私たちの事業所においてもクラスターを発生させてしまいました。利用者、関係者への不利益、また事業所経営にも多大な影響を及ぼすこととなってしまいましたが、この経験を糧としながら改めて徹底した感染予防に取り組みながら運営にあたります。
- ⑥ 全国的に経営難等による介護事業所の閉鎖、撤退が増えてきています。本町内でも撤退

事業所が出現しています。本会でも、介護事業経営は、大変厳しい状況に直面していますが、私たちは、この町の社会福祉協議会が運営する介護事業所として、この地域の在宅介護の担い手としての責任を果たさなければなりません。令和5年度は、将来にわたって事業を継続できるよう経営改善の端緒とするべく取り組みます。

3 健康増進事業関係

- ① 健康を切り口にした地域づくりを推進するため、運動とコミュニティーづくりに関係機関等と連携して取り組みます。この事業は伯耆町が目指す町民の健康増進への具体的取組のひとつであり、町からの期待に応えるべく、引続き努力をしていきます。
- ② フィットネス&スタジオパルは、この間、住民の主体的な健康増進施設として、地域の中に定着してきました。ここ数年は、思わぬコロナ感染症の影響で、経営的には大変厳しい状況となりましたが、それでもなんとか収支のバランスを保ってきました。最近になってコロナ対応の風向きの変化もあって、会員数も若干回復基調にシフトしたように感じていますので、会員増への取り組みを強化していきます。
- ③ 溝口テラソでのワーキング・コミュニティ・スペース（WCS）は、軽作業（工賃収入）と運動を介在させての高齢者の健康づくりと居場所を提供することを目的にした事業ですが、引き続きこの事業の活性化に取り組みます。

4 小規模保育事業関係

- ① 0歳から2歳の低年齢児の健全な成長と保護者の子育て支援であることを念頭におき、法令及び伯耆町から示された業務仕様を遵守して適切な運営に当たります。
- ② 小規模保育所のメリットを存分に発揮できるよう、職員全員が共通の目標（こどもの最善の利益）をもって保育に取り組みます。

5 新型コロナウイルス感染症対策

感染症類型の変更等が決定されること等により、社会生活は従前に戻る傾向にありますが、ウイルスは消えてしまったわけではなく、感染予防は引き続き本会全体としての最重要課題であり、各事業所において徹底した感染予防対策に取り組みます。

最近、マスクの着用について、緩和する方向性が示されていますが、本会では感染リスクの高い高齢者が生活する介護事業所、また運動により激しい呼吸をすることとなる健康増進事業所においては感染への懸念が完全に払しょくされていない現状にあって、引き続き、職員、利用者等のマスク着用を求めていると考えています。

6 事業継続計画（BCP）の策定への取組

本会における事業継続計画の策定に引き続き取り組みます。令和5年度中には介護事業所での策定が義務となりますが、併せて本会全事業所策定を完了させます。

令和5年度 地域福祉事業 説明資料

事業区分 事業名	新規	継続	事業内容・実施方法	実施回数等	事業効果等
愛の輪運動事業					
福祉ネットワークづくり		○	福祉委員研修会の開催、愛の輪推進会議の開催(地区別、校区別での開催)をする。	2回	小地域ネットワークの推進・連携強化とキーパーソンの養成、地域の実情に合った共助の仕組み構築を目指す。
福祉委員活動助成		○	集落の福祉委員活動に対する助成を行なう。	79集落	福祉委員活動の推進、定着を図る。小地域における居場所づくりの普及・啓発ができる。
いきいきふれあいサロン		○	福祉委員等に各集落公民館でサロンを開催して頂く。要請があれば職員も出向いていく。	85回	高齢者等、地域住民の閉じこもり防止や安否確認、また集落内での情報共有などを目的に行う。
日常生活用品貸与事業		○	緊急通報用装置、車椅子の貸出をする。	適宜	通報装置:緊急時に迅速な対応ができる。独居高齢者や障がい者の方、又別居の親族に対して安心感を持って頂く。 車椅子:外出・通院等での短期使用をして頂くことで、通院等で使用される方並びにご家族等の負担軽減を図る。
ボランティア推進事業					
ふくしの集い		○	地域での様々な問題や課題に対して、一人ひとりに何ができるか、これからの地域づくりを一緒に考える場として「ふくしの集い」を開催する。	1回	地域住民の力を集結して数々の先進的な取り組みに挑戦し、全国の社協の地域福祉モデルとして活動展開されている豊中市社協から講師を招き、そのノウハウを学び、少しでも多くの地域住民が同じ視点、同じ思いで一緒に活動できる仕組みづくりに繋げる。
配食サービス活動助成		○	配食サービスのボランティアの方々へ活動助成を行う。	166人	助成を行うことで、ボランティア活動を円滑に行うことができる。
ボランティア広報		○	ボランティアセンターの活動方針、活動内容について広報紙を発行する。	1回	ボランティアセンターの活動方針・活動内容を広報紙にすることで、ボランティアセンターの存在とボランティア活動への興味を広く町民の皆さんに持って頂くことができる。
ゆるっとボランティア		○	ボランティア活動未経験者でも気軽にできる活動を計画し、ボランティア活動に参加をするきっかけを作る。	24回	ボランティアセンター登録者に登録をしたが活動に繋がっていない方を対象に、気軽に参加できる活動を計画することでボランティア活動の裾野を広げる。
災害ボランティア研修会		○	災害ボランティアに関する導入講座を開催することで、災害時の支え合いを考える機会とする。	1回	災害時、社協が災害ボランティアセンターを立ち上げることを考え、まずは災害ボランティアとはどういったものか、災害時に必要な支え合いに関して学ぶ機会となる。また、災害時の支え合いを考えることで、平時の支え合いにつながるきっかけとなる。
福祉教育		○	町内小・中学生を対象に夏休みや総合的な学習の時間を利用して福祉関連体験学習を実施する(車椅子体験・高齢者疑似体験・福祉について学ぶ・福祉センター見学・デイサービス交流会・配食サービス体験など)。夏休み期間中は、小中学生を対象に公民館事業(お楽しみ体験)に社協事業(ふくし体験)として4事業を実施する。	通年	様々な福祉体験、多様な人との関わりのなかで将来の地域を担う子どもたちの福祉意識の醸成を図る。

令和5年度 地域福祉事業 説明資料

事業区分 事業名	新規	継続	事業内容・実施方法	実施回数等	事業効果等
さわやか福祉事業					
福祉地域座談会		○	昨年度はコロナ感染防止対策として中止とした。地域の実情を把握し記録として残すことで、継続的な地域支援のきっかけを作る。新型コロナの影響で今までのように多くの住民を集めることは難しいと考えられるため、開催方法を工夫しながら、地域の声をくみ取る事業とする。 実施期間：令和5年度～令和7年度(3ケ年)	32集落	事業説明型座談会ではなく、地域の実情の聞き取りを中心とした座談会にすることで、よりたくさんの情報を得ることが出来る。また、その情報を継続的に残すことにより、地域の状況や課題を把握し地域支援に繋げていくことができる。
配食サービス事業		○	75歳以上の独居高齢者や高齢者世帯、障がい者の方に、配食弁当をお届けする(週2回)。8月の配食は休止にするが、飲み物を持参して安否確認を行う。調理・配達には、ボランティアの協力を得て行う。利用者増加に向け、広報紙や友愛訪問にてPRを行う。	2/週	週2回(火・木)配食弁当をお届けすることで、定期的な安否確認と適切な栄養摂取をもらうことができる。8月は飲み物を持参して訪問し、脱水や熱中症になっていないか安否確認をすることができる。
高齢者いきがい対策事業		○	独居高齢者の集い(実りの会)を開催する。	6回	独居高齢者の閉じこもり予防や仲間づくり、生きがいづくりを目的として各種の研修・講習を行う。
		○	友愛訪問(75歳以上の独居高齢者訪問)を行う。対象者の誕生日を中心に訪問し、必要に応じて関係機関等と協力して支援にあたる。	通年	独居高齢者が増える中で、皆さんが日々どのような生活をしているのか、どのような思いがあるのか、実際に地域に出向いて話を伺う。そうした声を事業に反映させていく。
		○	緊急カード(キーホルダーとキーフックもセット)の作成と配布を行う。	通年	外出時の緊急対策として緊急連絡先を記載したカードを発行する。年1回は民生委員と協力して記載情報の確認も行う。 通算発行数650枚(R5.1末現在)
		○	高齢者等を対象に、文書内容の理解支援や書類記載支援を行う。	適宜	高齢者や障がい者の文書等の読み書きをサポートし、読み書きの困難さから生じる生活のしづらさを軽減し、日常生活を安心して送ることができるようにする。
地域福祉推進プラン		○	地域福祉推進プランの進捗管理をする。※「伯耆町の地域福祉計画」と「本会の地域福祉活動計画」を地域福祉推進プランとして一体的に策定(計画期間：令和4年度～令和8年度)。	適宜	地域福祉推進プランの進捗状況を確認しながら、行政と一体となって効果的、効率的な活動の展開を図る。
困窮時食料支援事業			生活に困窮し、食料に困った方を対象に、食料(購入費用)援助を行う。	適宜	お金がない、食べるものがないという場合の緊急事態に対応することができる。
		○	購入費用とは別にフードパートナー事業を行う。地域住民に食料品(主に米)の提供者(フードパートナー)となってもらい、食料の相談があった場合に提供して頂く。	適宜	食べるものがない方を支援することができるとともに、地域住民に生活困窮の問題が身近にもあることを共有してもらっている。
災害時における支え愛地域づくり推進事業		○	地域住民が主体となって行う災害時の対応を円滑に進めるため、平常時から行う支え合いのまちづくりに対し助成を行う(わが町支え愛マップ推進事業から事業名が変更)。	7集落	災害時の体制、平常時の見守り体制等の普及を促進する。
共同募金配分金事業					
おせち配布		○	年末に、ひとり暮らし高齢者等におせちを配布する。	1回	心温まる正月をむかえていただくとともに、歳末募金の啓発となる。
広報啓発活動		○	広報紙を年5回発行し、情報提供・福祉啓発を行う。ホームページでも必要な情報や新たな情報を提供していく。	5回	広報活動による情報提供や情報収集を行うことで本会事業や福祉活動に理解を得ることができる。
集落助成事業		○	集落及び団体等での世代間交流事業等に助成を行う。	2団体	集落などに助成して事業を実施してもらうことで、共同募金の啓発や地域福祉の推進ができる。

令和5年度 地域福祉事業 説明資料

事業区分 事業名	新規	継続	事業内容・実施方法	実施回数等	事業効果等
葬儀祭壇貸出事業		○	葬儀用祭壇の貸し出しを行う。	適宜	祭壇の貸し出しにより葬儀の円滑な実施を支援する。
たすけあい寄付金事業		○	弔電送付をする。会葬礼状印刷代の支援をする。	適宜	訃報の際に本会として哀悼の意を表す。
介護予防受託事業					
はつらつ教室		○	軽度認知症及びその可能性のある方を対象に、5教室(それぞれ毎月2回)の予防教室を実施する。	120回	認知症予防、心身ともに元気で過ごしてもらう生活習慣づくり
水中運動教室		○	水中ウォーキング、水中ジョギング、水中ミラクルビヨンドを曜日別で各20回、合計60回の教室を行う。	60回	水中での運動を通して、健康で元気な体作りをすることができる。
福祉サービス利用援助事業		○	認知症高齢者等のうち判断能力が不十分な人が自立した日常生活を送ることができるよう、福祉サービスの利用援助等を行う。	適宜	利用者が自立した日常生活を送るために援助を行い、生活基盤の安定を図る。利用者10人(R5.1末現在)
生活困窮者自立相談支援事業		○	生活困窮者の課題を聞き取りし、ニーズを把握する。アセスメントに基づいたプランを作成し、相談者に寄り添いながら課題解決を図っていく。	適宜	様々な要因が重なり合い生活に困窮している方に寄り添いながら支援することで、早期に課題解決を図り、自立して生活することができる。
生計困難者に対する相談支援事業(えんぐるり事業)		○	深刻な生活課題の解決に向け、既存制度では対応できない事案に対して関係機関と協力して支援をする。必要に応じて、経済的支援を行うこともできる。鳥取県社会福祉協議会を基幹として、県内社会福祉人と共同で行う。	適宜	県内社会福祉法人と協同して生活に困った方に対して支援を行うことで、既存制度では対応できない課題を解決することができる。
生活福祉資金貸付事業		○	生活困窮者を対象に、生活福祉資金の相談受付・窓口業務を行う(決定・貸付は鳥取県社協が行う)。	適宜	生活困窮者を対象に、資金的な支援をすることで生活の安定を図ることができる。
	○		コロナ特例貸付を借り受けた方への償還フォローアップ業務を行う。	適宜	コロナ特例貸付を借り受けた方が、返済に困る事が無いように支援することができる。
伯耆町社会福祉資金貸付事業		○	生活福祉資金では対応しにくい相談案件に対して、本会が主体となって小口の貸付をする(上限5万円)。	適宜	生活の維持に関わる緊急的な状況に対して、資金的な支援をすることで、生活の安定を図ることができる。
高齢者ワーキングコミュニティ事業		○	65歳以上の会員を募り、地元企業から受注した軽作業をしてもらう。	通年	高齢者が働いたり健康増進をすることができる場を提供することで、介護予防やコミュニティ作りをすることができる。
コミュニティソーシャルワーク実習受入	○		社会福祉士を目指す学生の現場実習(コミュニティソーシャルワーク実習)を受け入れる。※令和4年度1名受入し、令和5年度から事業計画に記載して実施する。	6~7月	将来の福祉を担う人材の育成を行うことで、社会福祉法人として地域に貢献することができる。
DVD更新事業		単年度事業	現行の社協PR用DVDの全面更新を行う。※令和4年度実施予定であったが、コロナにより各種事業中止で素材の撮影が出来なかったため、令和5年度に改めて実施する。		現行のDVDを更新し現状に合った事業紹介をすることで、本会事業や地域福祉に対する理解を深めてもらうことができる。
団体事務		○	町内各種福祉団体の事務局業務を行う。伯耆町老人クラブ連合会、伯耆町身体身体障害者福祉協会、伯耆町遺族会、岸本・溝口赤十字奉仕団	通年	各団体の事務局業務を行うことを通じて地域福祉推進を図る。

令和5年度 介護サービス事業

事業計画及び会計予算

(単位:千円)

事業名		居宅介護支援事業 (ケアマネージャー)				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		居宅介護支援 介護料収入	その他の事業収入 (受託収入)	その他の事業収入 (その他の事業収入)	その他	
21,964	20,917	18,978	1,839	100	0	
(事業内容の説明)						
○介護保険事業 ケアマネージャーは要介護者(要支援者)が居宅で介護サービスを適切に利用できるように 様々な手続きを行なってサポートする。						
【事業概要】 居宅介護支援サービスの提供 ・居宅サービス計画の作成 ・要介護認定の申請及び変更の代行 ・給付管理票の作成及び提出 ・情報提供、連絡、調整						
＜職員数＞ 4.2人 (専任 4名、兼任 1名)						
＜目標数＞ 給付管理業務月間実人員 要介護者 計 100人						
		要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
		33人	42人	18人	4人	3人
【収入】						
①介護報酬収入		18,978 千円 (基本報酬+初回加算+入院連携加算+ 特定事業所加算)				
②その他事業収入(受託事業収入)		1,839 千円				
③その他事業収入(認定調査委託料)		100 千円				
計		20,917 千円				
【支出】						
①人件費支出		16,107 千円 (正職4名:内再任用3名)				
②事業費支出		824 千円				
③事務費支出		398 千円				
④支払利息支出		26 千円				
⑤リース債務返済支出		560 千円				
⑥拠点区分間繰入金支出		900 千円				
計		18,815 千円				
(当期資金収支差額)		2,102 千円)				

事業名 岸本通所介護事業									
前年度 当初予算額	本年度 予算額	財源内訳							
		居宅介護料収入		生活支援・総合事業収入		利用者等利用料収入			都道府県補助金収入・雑収入
		介護報酬収入	介護負担金収入(公費含む)	事業費収入	事業負担金収入(公費含む)	食費収入	事業利用者食費	いきいきデイサービス収入	
63,339	64,766	45,824	5,090	6,892	765	4,576	1,107	482	30

・介護保険通所介護事業、日常生活支援事業総合事業を行う。

【事業概要】要介護・要支援の認定を受けた利用者及び事業対象者に、適切な介護を提供し、自立支援を助け、家族支援を行い、その在宅生活が継続出来るようにする。

<対象者> 介護認定申請の結果、要介護及び要支援(総合事業)の認定を受けた方。

<自己負担> 介護給付額の自己負担割合に応じた額を負担。また、昼食等にかかる費用として700円徴収。

※食材費や光熱費の高騰により食費を100円上げる。

※介護給付額は介護度及びサービス提供時間・内容により異なる。

※令和5年度 処遇改善加算(Ⅱ)→(Ⅰ)を取得

【令和5年度 利用者数の年間目標:上段は令和4年実数、()は実利用者数平均】

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
令和4年度	3,097(18)	1,770(11)	713(4)	299(1)	276(1)	6,155(35)
令和5年度	4,335(23)	2,142(14)	466(3)	0(0)	12(1)	6,955(41)
	事業対象	要支援1	要支援2	計		
令和4年度	170(3)	270(5)	972(11)	1,412(19)		7,567(54)
令和5年度	143(3)	321(6)	1,214(12)	1,678(21)		8,633(62)

【収入】

①介護報酬・事業費収入	52,716 千円(介護45,824千円+総合事業 6,892千円)
②介護・事業負担金収入	5,855 千円(介護 5,090千円+総合事業 765千円公費含む)
③介護・事業利用者食費収入	5,683 千円(介護 4,576千円+総合事業 1,107千円)
④いきいきデイサービス収入	482 千円(食費含む)
⑤都道府県補助金収入	0 千円
⑥雑収入	30 千円
計	64,766 千円

【支出】

①人件費支出	49,703 千円 (正職 4名、有期フル 5名、短時間 15 名)
②事業費支出	13,307 千円
③事務費支出	814 千円
④負担金支出	40 千円
⑤支払利息支出	30 千円
⑥リース債務返済支出	872 千円
計	64,766 千円

令和5年度岸本通所介護事業所行事予定

実施月	行事名	行事予定	ボランティア参加者	
4月	上旬	屋外活動	デイ帰宅時近くの桜見物に出かける。	
	中旬	クッキングレク	ティータイムのお菓子「さくらもち」を作る。(レク時間・2日間)	
	23～25	創立30周年祝い	創立30周年の節目に食事やプレゼント、出し物でお祝いする。	
	下旬	花・野菜の種まき	デイサービス花壇に花や野菜の種をまく。(夏や秋に収穫した野菜は昼食の食材として試食する)	
5月	下旬	避難訓練	利用者を対象に火災を想定した避難訓練の実施。(レク時間・1日間)	
6月	上旬	笹まき作り	利用者が1人2個ずつ笹まきを作る(レク時間・2日間)	
	下旬	健康講話	利用者を対象に「夏の健康管理」について講話。(レク時間・3日間)	仲村医師又は看護師
7月	上旬	七夕交流会	中学校職場体験の学生と七夕祭を催し、交流を図る。	中学生職場体験
	時期未定	ボランティア体験	夏休みを利用しての小、中、高の介護実習体験。	学生ボランティア
	下旬	お好みメニュー	昼食に数品の中からお好みのメニューを選んで召し上がっていただく。(昼食・3日間)	
8月	上旬	夏祭り	夏祭りの雰囲気味わってもらう為、盆踊り、屋台等を実施(レク時間・2日間)	学生ボランティア
9月	中旬	敬老会	敬老を慶び、昼食に「長寿お祝い御膳」、レク時間に演芸の披露(レク時間3日間)	
10月	上旬	屋外活動	昼食後、紅葉見物(レク時間・6日間)	
	中旬	口腔ケア	利用者を対象に「口の中の衛生」について講話と口腔ケア指導(レク時間・1日間)	歯科衛生士(米子保健所)
11月	上旬	ハロウィンおやつ作り	ホットケーキにお好みの物をサンドしてハロウインの飾りをしておやつを作り、みんなで試食する。(レク時間・2日間)	
	下旬	避難訓練	利用者を対象に火災を想定した避難訓練の実施。(レク時間・1日間)	
12月	上旬	東みづほ幼稚園交流会	東みづほ幼稚園児と交流を図る(レク時間1日間)	東みづほ幼稚園児
	上旬	こしき保育所交流会	こしき保育所児童と交流を図る(レク時間1日間)	こしき保育所児童
	中旬	クリスマス会	1年の締めくくりとして、「クリスマスランチ」の昼食、午後は演芸会を開催(レク時間3日間)	演芸会出演ボランティア
	中旬	SUT合唱団コンサート	SUT合唱団による、クリスマスコンサートを開催。	
1月	上旬	新年会	利用者が1年間笑顔で過ごせることを祈り、新年会を開催(レク時間2日間)	
	下旬	お好みメニュー	昼食に数品の中からお好みのメニューを選んで召し上がっていただく。(昼食・3日間)	
2月	中旬	クッキングレク	ティータイムのお菓子、バレンタインデーにちなんで手作りケーキ作り。(レク時間・2日間)	
3月	上旬	ひな祭り	ひな祭りにちなんで作品作り。(レク時間)	
個別レク			午前レクは、主に塗り絵、手作業、計算などで脳の活性化を目指す。毎月、押し花・歌唱指導・隔月で日赤ボランティアも訪問され交流を図る。	
午後レク			集団ゲームを中心に、交流と身体機能低下の予防を図る。また、不定期でハーモニカ演奏、隔月でギターライブなどの個人ボランティアが訪問され、交流を図る。	
運動・体操			午前レクの後、午後レクの前に、体操、運動を行い、身体機能低下の予防を図る。	

※屋外活動やボランティア参加に関してはコロナ感染予防対策の状況を見て予定を立てる。

※クッキングレクは十分なコロナ対策を取りながら実施する。

事業名		岸本身体障害者デイサービス介護事業																					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳																					
		自立支援給付費収入	利用者負担金収入	受託事業収入	その他																		
3,593	3,618	3,124	184	310	0																		
・障害福祉サービス事業を行う。 【事業概要】 <対象者> 身体障害者及び障害児 <自己負担> 食事代 400円(生活介護) 700円(日中一時支援) 【令和5年度 利用者数の年間目標:上段は令和4年度実数見込】 [生活介護] <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><th></th><th>実人数</th><th>のべ人数</th></tr> <tr><td>令和4年度</td><td>5</td><td>410</td></tr> <tr><td>令和5年度</td><td>4</td><td>500</td></tr> </table> [日中一時支援] <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><th></th><th>実人数</th><th>のべ人数</th></tr> <tr><td>令和4年度</td><td>1</td><td>48</td></tr> <tr><td>令和5年度</td><td>1</td><td>52</td></tr> </table>							実人数	のべ人数	令和4年度	5	410	令和5年度	4	500		実人数	のべ人数	令和4年度	1	48	令和5年度	1	52
	実人数	のべ人数																					
令和4年度	5	410																					
令和5年度	4	500																					
	実人数	のべ人数																					
令和4年度	1	48																					
令和5年度	1	52																					
【収入】		①自立支援給付費収入	3,124 千円																				
		②利用者負担金収入	184 千円																				
		③受託事業収入	310 千円	(日中一時支援事業)																			
		計	3,618 千円																				
【支出】		①人件費支出	3,132 千円																				
		②事業費支出	478 千円																				
		③事務費支出	8 千円																				
		計	3,618 千円	(当期資金収支差額 0千円)																			

事業名		溝口身体障害者デイサービス介護事業																					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳																					
		自立支援給付費収入	利用者負担金収入	受託事業収入	その他																		
3,365	2,140	1,735	77	328	0																		
・障害福祉サービス事業を行う。 【事業概要】 <対象者> 身体障害者及び障害児 <自己負担> 食事代 400円 700円(日中一時支援) 【令和5年度 利用者数の年間目標:上段は令和4年度実数見込】 [生活介護] <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><th></th><th>実人数</th><th>のべ人数</th></tr> <tr><td>令和4年度</td><td>2</td><td>212</td></tr> <tr><td>令和5年度</td><td>2</td><td>225</td></tr> </table> [日中一時支援] <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><th></th><th>実人数</th><th>のべ人数</th></tr> <tr><td>令和4年度</td><td>1</td><td>18</td></tr> <tr><td>令和5年度</td><td>1</td><td>48</td></tr> </table>							実人数	のべ人数	令和4年度	2	212	令和5年度	2	225		実人数	のべ人数	令和4年度	1	18	令和5年度	1	48
	実人数	のべ人数																					
令和4年度	2	212																					
令和5年度	2	225																					
	実人数	のべ人数																					
令和4年度	1	18																					
令和5年度	1	48																					
【収入】		①自立支援給付費収入	1,735 千円																				
		②利用者負担金収入	77 千円																				
		③受託事業収入	328 千円	(日中一時支援事業)																			
		計	2,140 千円																				
【支出】		①人件費支出	1,911 千円																				
		②事業費支出	221 千円																				
		③事務費支出	8 千円																				
		計	2,140 千円	(当期資金収支差額 0千円)																			

事業名	溝口通所介護事業									
前年度	本年度	財源内訳								
		居宅介護料収入		生活支援・総合事業収入		利用者等利用料収入			受入研修費・雑収入	
当初予算額	予算額	介護報酬収入	介護負担金収入(公費含む)	事業費収入	事業負担金収入(公費含む)	食費収入	事業利用者食費	いきいきデイサービス収入		
53,871	47,939	33,985	3,821	3,972	440	4,613	866	212	30	

・介護保険通所介護事業、日常生活支援総合事業を行う。

【事業概要】 要介護・要支援の認定を受けた利用者及び事業対象者に、適切な介護を提供し、自立支援を助け、家族支援を行い、その在宅生活が継続出来るようにする。

<対象者> 介護認定申請の結果、要介護及び要支援(総合事業)の認定を受けた方。

<自己負担> 介護給付額の自己負担割合に応じた額を負担。また、昼食等にかかる費用として700円徴収。

※食費や光熱費の高騰により食費を100円上げる。

※介護給付額は介護度及びサービス提供時間・内容により異なる。

※令和5年度 処遇改善加算(Ⅱ)→(Ⅰ)を取得。

【令和5年度 利用者数の年間目標:上段は令和4年度実数()は実利用者数平均】

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
令和4年度	2,295(13)	1,650(15)	289(3)	0(0)	0(0)	4,234(31)
令和5年度	2,748(15)	2,124(16)	298(6)	48(1)	0(0)	5,218(38)
	事業対象者	要支援1	要支援2	計		介護・支援合計
令和4年度	322(5)	85(3)	474(8)	881(16)		5,115(47)
令和5年度	367(7)	108(4)	483(15)	958(26)		6,176(64)

【収入】

①介護報酬・事業費収入	37,957 千円(介護33,985 千円+総合事業3,972千円)
②介護・事業負担金収入	4,261 千円(介護3,821千円+総合事業440千円公費含む)
③介護・事業利用者食費収入	5,479 千円(介護4,613 千円+総合事業 866千円)
④いきいきデイサービス収入	212 千円(食費含む)
⑤受入研修費収入	10 千円
⑥雑収入	20 千円
計	47,939 千円

【支出】

①人件費支出	38,110 千円 (正職 4 名、フルタイム4 名、短時間7 名)
②事業費支出	8,730 千円
③事務費支出	346 千円
④負担金支出	40 千円
⑤支払利息支出	6 千円
⑥リース債務返済支出	131 千円
計	47,363 千円 (当期資金収支差額 576千円)

令和5年度溝口通所介護事業所行事予定

実施月	行 事 名	行 事 予 定	ボ ラ ン テ ィ ア 参 加 者	
4月	上旬	屋外活動	伯耆町内の桜を午後レク時間にお花見に出かける。	
	中旬			
	下旬	種まき	夏のグリーンカーテン用の植物の種まきを利用者と職員で作業する(レク時間・1日間)	
5月	上旬	端午の節句	こいのぼり作り等をして作品展示を行う。(レク時間・3日間)	
	中旬	創立記念	デイサービス創立記念を祝い、レク時間には演芸会、お祝い御膳を提供する。(演芸会週3日・お祝い御膳5日間)	
6月	上旬	屋外活動	地域ボランティア協力のもと花回廊に出かけ外出や買い物を楽しむ(レク時間・4日間)	地域ボランティア
7月	上旬	七夕まつり	昼食は七夕特別メニューを提供し、レク時間には、演芸会や短冊の披露をする。	
	時期未定	ボランティア体験	夏休みを利用しての小、中、高の介護実習体験。	学生ボランティア
8月	下旬		大きな行事はありませんが通常レクリエーションを実施する。	
9月	上旬	防災・消防訓練	利用者、職員を対象に災害を想定した避難訓練等の実施(レク時間・1日間)	
10月	中旬	敬老会	長寿をお祝いし、昼食時に敬老の日お祝い御膳を提供する。(5日間)	
	上旬	屋外活動	地域ボランティア協力のもと花回廊に出かけ外出や買い物を楽しむ(レク時間・4日間)	
11月	上旬	お楽しみレストラン	5つのメニューの中から好きな定食を日替わりで朝、注文し昼食時に食べて頂く。(5日間)	
12月	上旬	クリスマス会	クリスマスメニューやプレゼントを配布する。午後は演芸会を開催する。(レク時間6日間)	景山会長出席
	中旬	SUT合唱団コンサート	SUT合唱団による、クリスマスコンサートを開催。	
1月	上旬	新年会	新年をお祝いし職員、利用者と演芸会を開催する。昼食時には新年お祝い御膳を提供する。(1日間)	
2月	上旬	節分行事	節分豆まきに(紅白ボール)を使った鬼退治を行う。	
	上旬	防災・消防訓練	利用者、職員を対象に災害を想定した避難訓練等の実施(レク時間・1日間)	
	中旬	だんだんまつり見学	三部文化センターに作品展示見学に行く。(レク時間・1日間)	
3月	上旬	ひな祭り	ひな祭りにちなんで作品作りを行い展示する。(レク時間・4日間)	
	中旬	彼岸市	彼岸市の散策に出かける。(レク時間・1日間)	
	中旬	溝口公民館まつり	溝口公民館まつりに見学に行き、利用者の展示作品も見学する。(レク時間・1日間)	
個別レク		午前レク時間に、手作業、パズル、塗り絵、ナンプレ、計算などの脳の活性化を目指す。自主運動やマッサージ等行う。		
午後レク		体操や集団ゲームで楽しく体を動かし、交流と身体機能低下の予防を図る。		
運動・体操		午前レク時間に自転車ペダルこぎや平行棒歩行訓練を実施し、午後レクの前に、体操、運動を行い、身体機能低下の予防を図る。		
口腔ケア・体操		食前に口腔体操、食後に口腔ケアを行うことで、口腔機能の維持向上を目指す。		

※屋外活動やボランティア参加に関してはコロナ感染の状況を見て予定を立てる。

※クッキングレクリエーションは、コロナ感染対策の為、中止します。

事業名	溝口訪問介護事業								
前年度	本年度	財源内訳							
		居宅介護料収入		生活支援・総合事業収入		その他の事業収入		受託金収入	都道府県補助金収入
予算額	予算額	介護報酬収入	介護負担金収入(公費含む)	事業費収入	事業負担金収入(公費含む)	補助金事業収入	にこにこヘルプ収入		
22,856	28,825	12,530	1,591	8,575	1,056	4,800	22	251	0

・介護保険訪問介護事業、介護予防・日常生活支援総合事業を行う。

【事業概要】 要介護及び要支援の認定を受けた利用者や、非該当の方に、適切な介護や生活援助を提供し、可能な限り自立した日常生活を送ることが出来るように支援していく。また、単独生活支援事業を実施する。さらに町の見守り事業を受託する。

<対象者> 介護認定申請の結果、要介護及び要支援の認定を受けた方、非該当で支援が必要な方。

<自己負担> 介護保険、介護予防・日常生活支援総合事業の利用の方は、介護給付額の自己負担割合に応じた額を負担することになります。単独生活支援事業の利用の方は実費になります。昨年度から町単独加算を充当する。

※介護給付額はサービス提供時間・内容により異なる。

【令和5年度 利用者数の年間目標:上段は令和4年度実数見込】

【令和5年度 延べ利用者数の年間目標:上段は令和4年度延べ利用者数】

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
令和4年度	1,399	954	177	53	65	2,648
令和5年度	1,678	1,144	212	63	78	3,175
	事業対象者	要支援1	要支援2	計		介護・支援合計
令和4年度	199	448	1,570	2,217		4,865
令和5年度	238	537	1,884	2,659		5,834

※令和5年度は、令和4年度数字の介護保険 120%、介護予防・日常生活支援総合事業は 120 %を目標としています。

【収入】

①介護報酬・事業費収入	21,105 千円(介護12,530千円+総合事業8,575千円)
②介護・事業負担金収入	2,647 千円(介護1,591千円+総合事業1,056千円 公費含む)
③その他の事業収入	4,822 千円(補助金4,800千円、単独事業22千円)
④受託金収入	251 千円
⑤都道府県補助金収入	0 千円
計	28,825 千円

【支出】

①人件費支出	25,192 千円 (正職2名、フルタイム2名、短時間8名)
②事業費支出	2,962 千円
③事務費支出	497 千円
④負担金支出	22 千円
⑤支払利息支出	7 千円
⑥車両運搬具取得支出	0 千円
⑦リース債務返済支出	145 千円
計	28,825 千円

事業名		溝口障害者居宅介護事業																																										
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳																																										
		介護報酬収入	利用者負担金収入	受託事業収入	市区町村 受託金収入																																							
6,064	7,633	7,147	0	258	228																																							
<p>・障害福祉サービス事業を行う。</p> <p>【事業概要】 <対象者> 身体、精神、知的、児童の障害者及び障害児 <自己負担> 世帯収入の高い方(現在はなし)</p> <p>【令和5年度 延べ利用者数の年間目標:上段は令和4年度延べ利用者数見込】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">障害区分</th> </tr> <tr> <th>身体</th> <th>精神</th> <th>知的</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度</td> <td>181</td> <td>802</td> <td>990</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>181</td> <td>802</td> <td>990</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和5年度は、令和4年度数字の100%を目標数字にしています。</p> <p>【収入】</p> <table> <tr> <td>①介護報酬収入</td> <td>7,147 千円</td> </tr> <tr> <td>②利用者負担金収入</td> <td>0 千円(交通費)</td> </tr> <tr> <td>③受託事業収入</td> <td>486 千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7,633 千円</td> </tr> </table> <p>【支出】</p> <table> <tr> <td>①人件費支出</td> <td>5,649 千円</td> </tr> <tr> <td>②事業費支出</td> <td>1,120 千円</td> </tr> <tr> <td>③事務費支出</td> <td>145 千円</td> </tr> <tr> <td>④負担金支出</td> <td>2 千円</td> </tr> <tr> <td>⑤拠点区分間繰入金支出</td> <td>564 千円 (当期資金収支差額 153千円)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7,480 千円</td> </tr> </table>							障害区分				身体	精神	知的	児童	令和4年度	181	802	990	0	令和5年度	181	802	990	0	①介護報酬収入	7,147 千円	②利用者負担金収入	0 千円(交通費)	③受託事業収入	486 千円	計	7,633 千円	①人件費支出	5,649 千円	②事業費支出	1,120 千円	③事務費支出	145 千円	④負担金支出	2 千円	⑤拠点区分間繰入金支出	564 千円 (当期資金収支差額 153千円)	計	7,480 千円
	障害区分																																											
	身体	精神	知的	児童																																								
令和4年度	181	802	990	0																																								
令和5年度	181	802	990	0																																								
①介護報酬収入	7,147 千円																																											
②利用者負担金収入	0 千円(交通費)																																											
③受託事業収入	486 千円																																											
計	7,633 千円																																											
①人件費支出	5,649 千円																																											
②事業費支出	1,120 千円																																											
③事務費支出	145 千円																																											
④負担金支出	2 千円																																											
⑤拠点区分間繰入金支出	564 千円 (当期資金収支差額 153千円)																																											
計	7,480 千円																																											

事業名		移送サービス事業																																																
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳																																																
		利用料収入																																																
145	255	255																																																
<p>・移送サービス事業を行う。</p> <p>【事業概要】 <対象者> 要介護1以上の認定を受けた方、障害の方 <自己負担> 輸送料金として 町内200円 町外は5km毎に200円</p> <p>【令和5年度 延べ利用者数の年間目標:上段は令和4年度延べ利用者数見込】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="7">区分</th> </tr> <tr> <th>町内</th> <th>5km未満</th> <th>5~10km</th> <th>10~15km</th> <th>15~20km</th> <th>20~25km</th> <th>25~30km</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度</td> <td>127</td> <td>56</td> <td>292</td> <td>72</td> <td>73</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>120</td> <td>53</td> <td>277</td> <td>68</td> <td>69</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和5年度は、令和4年度数字の95%を目標数字にしています。</p> <p>【収入】</p> <table> <tr> <td>①利用料収入</td> <td>255 千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>255 千円</td> </tr> </table> <p>【支出】</p> <table> <tr> <td>①人件費支出</td> <td>29 千円</td> </tr> <tr> <td>②事業費支出</td> <td>169 千円</td> </tr> <tr> <td>③事務費支出</td> <td>57 千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>255 千円 (当期資金収支差額 0千円)</td> </tr> </table>									区分							町内	5km未満	5~10km	10~15km	15~20km	20~25km	25~30km	令和4年度	127	56	292	72	73	0	0	令和5年度	120	53	277	68	69	0	0	①利用料収入	255 千円	計	255 千円	①人件費支出	29 千円	②事業費支出	169 千円	③事務費支出	57 千円	計	255 千円 (当期資金収支差額 0千円)
	区分																																																	
	町内	5km未満	5~10km	10~15km	15~20km	20~25km	25~30km																																											
令和4年度	127	56	292	72	73	0	0																																											
令和5年度	120	53	277	68	69	0	0																																											
①利用料収入	255 千円																																																	
計	255 千円																																																	
①人件費支出	29 千円																																																	
②事業費支出	169 千円																																																	
③事務費支出	57 千円																																																	
計	255 千円 (当期資金収支差額 0千円)																																																	

(単位:千円)

事業名		高齢者ワーキングコミュニティ事業(WCS)																											
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳																											
		事業収入 (手数料収入)	繰入金収入																										
1,612	1,977	1,541	436																										
<p>(事業内容の説明)</p> <p>町の策定した「ワーキングコミュニティスペース(略称「WCS」)事業」計画に沿って溝口分庁舎空きフロア(4~5階)の内部を改修し仕事と運動が両立できる施設となる。この高齢者ワーキングコミュニティ事業では、4階を使用して会員(65歳以上)への仕事を提供・管理を行う公益事業として運営する。</p> <p>(施設概要) 仕事施設(4階) (403.46㎡) (内容:ワーキングスペース)</p> <p>(事業概要) ①仕事受注に関する営業及び調整 ②会員への仕事提供及び労務管理 ※仕事の対価は単価により計算し配分金として個々に支払う ③その他運営に必要な事業</p> <p>(収支予算)</p> <p>【収入】</p> <table style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:15%;">①事業収入</td> <td style="width:35%;">1,541 千円</td> <td style="width:50%;">(※令和3年11月~令和4年10月までの実績による月平均で算出)</td> </tr> <tr> <td>②繰入金収入</td> <td>436 千円</td> <td>(溝口健康増進事業からの繰入)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">合計</td> <td>1,977 千円</td> <td></td> </tr> </table> <p>【支出】</p> <table style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:15%;">①人件費支出</td> <td style="width:35%;">0 千円</td> <td style="width:50%;">(※地域福祉職員が兼務予定)</td> </tr> <tr> <td>②事業費支出</td> <td>1,856 千円</td> <td>(工賃1388千円、消費税 45千円 他)</td> </tr> <tr> <td>③事務費等支出</td> <td>121 千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④繰入金支出</td> <td>0 千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">合計</td> <td>1,977 千円</td> <td></td> </tr> </table> <p>当期資金収支差額 <u>0 千円</u></p>						①事業収入	1,541 千円	(※令和3年11月~令和4年10月までの実績による月平均で算出)	②繰入金収入	436 千円	(溝口健康増進事業からの繰入)	合計	1,977 千円		①人件費支出	0 千円	(※地域福祉職員が兼務予定)	②事業費支出	1,856 千円	(工賃1388千円、消費税 45千円 他)	③事務費等支出	121 千円		④繰入金支出	0 千円		合計	1,977 千円	
①事業収入	1,541 千円	(※令和3年11月~令和4年10月までの実績による月平均で算出)																											
②繰入金収入	436 千円	(溝口健康増進事業からの繰入)																											
合計	1,977 千円																												
①人件費支出	0 千円	(※地域福祉職員が兼務予定)																											
②事業費支出	1,856 千円	(工賃1388千円、消費税 45千円 他)																											
③事務費等支出	121 千円																												
④繰入金支出	0 千円																												
合計	1,977 千円																												

令和5年度

事業計画及び会計予算

(単位:千円)

事業名	岸本健康増進事業(フィットネス&スタジオ パル)				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		事業収入 (利用料収入)	町受託収入		
26,085	24,847	24,780	67		
(事業内容の説明)					
<p>町の策定した「ほうき健康経営プロジェクト事業」計画に沿って開業したスポーツジム(フィットネス&スタジオ パル)を収益事業として自主運営する。</p> <p>●施設概要</p> <p>①ジムエリア (117.69㎡) マシン20台設置 【マシン内容:有酸素マシン8台、筋力マシン7台、ストレッチマシン3台、振動マシン2台】</p> <p>②スタジオエリア (106.58㎡) 1室 ※スタジオ内にはバーチャルレッスン用スクリーン等有</p> <p>③更衣室、ホール、ギャラリー、事務室</p> <p>●主な事業内容</p> <p>①会員獲得のための販売促進</p> <p>②スタジオレッスン指導(主にラディカルフィットネス)</p> <p>③バーチャルレッスン(映像プログラムレッスン)</p> <p>④運動指導(マシントレーニング、ショートレッスン他)</p> <p>⑥パルひろば等を活用したイベント開催</p> <p>⑦その他運営に必要な事業</p>					
(収支予算)					
【収入】					
①利用料収入 24,780 千円					
※会員数(フィットネス) 336名/月平均、(カルチャー) 37名/月平均で算出					
②町受託収入 67 千円					
※特定保健指導を受けた町民を対象とした運動提供(年間3名利用見込み)					
合計 24,847 千円					
【支出】					
①人件費支出 7,564 千円					
【正職員1名(テラソ兼務)・フルタイム2名(内1名テラソ兼務)、パート2名(内1名テラソ兼務)】					
②事業費支出 13,192 千円(消費税 1,130千円、法人税127千円計円含む)					
③事務費等支出 2,372 千円					
④繰入金支出 1,000 千円(センター指定管理事業・法人運営事業)					
合計 24,128 千円					
当期資金収支差額 719 千円					

(単位:千円)

事業名		溝口健康増進事業(WCS)			
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		事業収入 (利用料収入)	町補助金収入	雑収入	
10,129	12,046	4,620	7,222	204	
(事業内容の説明)					
<p>町の策定した「ワーキングコミュニティースペース(略称「WCS」)事業」計画に沿って溝口分庁舎空きフロア(4~5階)の内部を改修し仕事と運動が両立できる施設となる。この溝口健康増進事業では、5階を使用してのスポーツジム及びカラオケ等コミュニティ施設を収益事業として運営する。</p>					
(施設概要)					
<p>運動施設(5階) (403.46㎡) 【内容:フィットネススペース(マシン内容:有酸素マシン4台、自走式マシン4台、筋トレマシン3台、ストレッチマシン4台、振動マシン2台)】 ※フィットネススペースには芝生スペースでのレッスンや大型モニターによるバーチャルレッスンが可能 【内容:カラオケスペース(2室)、セルフカフェスペース(コーヒーマシン1機・自販機1機設置)】</p>					
(事業概要)					
<p>①会員獲得のための販売促進 ②運動施設の管理運営(マシンメンテナンス、ショートレッスン、バーチャルレッスン他) ③カラオケ、セルフカフェスペースの管理運営 ④その他運営に必要な事業</p>					
(収支予算)					
【収入】					
①利用料収入 4,620 千円(町体験事業収入含む)					
※会員数(15~65歳未満) 90名/月平均(テラソ会員)					
会員数(65歳以上) 20名/月平均(ワーキング会員)で算出					
※町体験事業(月8回の利用が可能で1回の利用料は1,100円)毎月1名を想定					
②町補助金収入 7,222 千円(テラソ人件費に係わる補助金)					
③雑収入 204 千円(コーヒーサーバー・自販機売上げ)					
合計 12,046 千円					
【支出】					
①人件費支出 9,079 千円【正職員1名(パル兼務)・フルタイム1(パル兼務)、パート2名(内1名パル兼務)】					
②事業費支出 1,894 千円(消費税 220千円、法人税 0千円含む)					
③事務費等支出 498 千円					
④繰入金支出 575 千円(ワーキング事業へ435千円、法人運営事業へ138千円)					
合計 12,046 千円					
当期資金収支差額 0 千円					